

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

Table with 2 rows and 7 columns: 事業コード, 33, 事業名, 情報提供機能の強化, 戦略コード, 4, 戦略名, 機動的・効率的な商工会; 担当部名, 企業振興部, 担当課名, 創生プラン推進課, 担当課長名, 加藤慎也, 施策コード, 17, 施策名, シンクタンク機能の強化

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景: 経済環境や社会情勢の急速な変化に伴い、商工会に対する事業者のニーズは年々多様化・高度化しており、従来のような税務・資金調達・労務といった経営管理における対症療法的対応では、事業者の課題に對し的確に応えることは難しくなっており、より総合的・戦略的な観点からのコンサルティング的機能を強化する必要がある。
2. 事業のねらい: 企業経営や地域振興に係る情報の収集や分析・提案、経営指導員の支援力強化に資する情報提供、商工会の業務アドバイスに対応する相談サポートなど、商工会を後方支援する役割を果たしていく。
3. これまでの評価結果: シンクタンク機能の役割として、情報提供件数について目標を大きく上回る結果を残すことができたことや、全県商工会の経営指導員を対象としたアンケート結果からは目標を超える評価があった。対応ができていなかったマスメディア等の情報をさらに収集分析し活用する必要がある。
4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応: 多くの情報を収集する必要するため、アンテナをより一層高くし、商工会や経営指導員に必要な情報の提供を心掛け、早期に分析し、タイムリーに提供できるよう取り組んだ。

【取組評価】

Table with 4 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows 76-79: 76 商工会の活動強化につながる「分析・提案機能」, 77 経営指導員の支援力向上につながる「情報提供機能」, 78 情報提供機能の強化, 79 経営指導員の情報活用度の向上

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)
Table with 3 main columns: 取組コード, 指標名, 実績. Sub-tables for 78 and 79 with metrics like 年度, 目標, 実績, 達成率, 達成度.

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価: 【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a; 【有効性の観点】事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b; 【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b
2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B
3. 課題: 現場のニーズに合った情報を「定期的」に発信することが求められている。(アンケート結果より)
4. 今後の対応方針(改善点): 全国や商工会の好事例に関する情報や各種統計、補助金、施策等を分かり易く分析し、経営指導員が現場で役立つ情報の提供を強化する。